

地域おこし協力隊通信

vol.61

集落支援担当 讃井孝廣隊員



こんにちは、協力隊員の讃井です。10月24、25日に問寒別地区の文化祭が開催されました。問寒別を中心に活動されている陶芸、釣り、蕎麦打ちなどたくさんのサークルが日ごろの成果を発表しました。私も手芸クラブのメンバーとして、エコバッグと毛糸を展示しました。

国内で純血種は幌延にしかないといわれる「ロマノフ種」から毛糸を紡ぐプロジェクトを進めていることから、エコバッグの飾りを羊にしました。白い頭部は、一般的なサフォーク種の羊毛ですが、灰色の胴体部分はロマノフ種の羊毛で仕上げています。こうしてみると、同じ羊毛といっても色合いが全然違うのが分かりますね。

となりにある灰色の毛糸は、同じくロマノフ種から紡いだものです。羊の「毛刈り」から「糸紡ぎ」まで多くの方々のご協力を得ながら、形にすることができました。これまで廃棄されるだけだった羊毛を、毛糸にして活用することができたのは感慨深いものがあります。ただ、糸紡ぎの技術が未熟なため、太さがバラバラです。これからは技術の向上も課題ですね。今後も糸紡ぎを続けていきますので、興味がある方は是非一緒に活動しましょう。



ロマノフ種の毛からつくったバッグの羊の飾りと毛糸

観光振興担当 江坂文昭隊員



協力隊通信初登場の江坂です。10月1日に着任し、2か月が経ちました。引っ越しの後片付けも一段落し、天気の良い休日は釣りに出かける余裕もできました。先日は同僚に「トナカイ観光牧場」の近くの川へ連れて行っていただき、生まれて初めてアメマス釣りをしました。家から車で10分ほどの川にアメマスがいることに感動！おまけに大きなイトウのペアまで見ることができて更に感動しました！！

協力隊事務所のある問寒別も、イトウやヤマメ釣りの盛んな土地柄とうかがっていますので、来シーズンが楽しみです。

雪の季節は、スノーシューハイキングを楽しみたいと思っています。お勧めのコースがあれば、是非教えていただきたいと思っています。

釣りやハイキングなどのアウトドアアクティビティを何とか仕事に結びつけられないか、日夜、頭をひねっています（そんな虫の良い話はないでしょうが・・・笑）。その前に、まずは厳しく寒い冬を乗り越えて行きたいと思っていますので、これからもよろしく願いいたします。



トナカイ観光牧場付近の川で釣り上げたアメマス

お問い合わせ先：(集落支援) 地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」
(観光振興) 企画政策課 企画政策グループ

電話・告知端末機：9-7367

電話 5-1114 告知端末機 5-8814